

# 沿革史

- 明治 9年 草山小学校が創立される。  
13年 象訓小学校と名前を変える。  
20年 本郷簡易小学校と名前を変える。(小学校は3年間)  
25年 草山村立本郷尋常小学校と名前を変える。(小学校は4年間)  
33年 現在の場所に学校が建てられる。  
35年 村立本郷尋常高等小学校と名前を変える。(6年間)  
37年 村立本郷尋常小学校の名前にもどす。  
41年 義務教育が六ヶ年となる。(第5学年ができる)  
42年 第6学年ができる。
- 大正 2年 村立本郷尋常高等小学校と再び名前を変える。  
15年 創立50周年記念式典を行う。
- 昭和 10年 新しい校舎が完成する。  
16年 草山国民学校と名前を変える。  
22年 村立草山小学校と名前を変える。  
26年 校歌ができる。  
30年 西紀村ができ、西紀村立西紀北小学校となる。  
35年 西紀町となり、西紀町立西紀北小学校となる。  
41年 給食センターにより給食が始まる。  
48年 新しい校舎ができる。  
51年 創立百周年記念式典・大運動会を開催する。
- 平成 元年 プールが完成する。  
10年 運動場が改修される。職員室が拡張される。  
11年 篠山市となり、篠山市立西紀北小学校となる。  
13年 児童トイレ・職員トイレが改修される。  
14年 校舎屋上の防水工事が行われる。  
15年 プール・運動場トイレが改修され、水洗になる。  
第1回ふれあい運動会が開催される。  
16年 体育館屋根の防水工事が行われる。  
17年 体育館外側斜面崩落防止工事が行われる。  
18年 創立百三十周年。育友会や地域の方々と共に記念式典を行う。  
19年 北地区自治会等と共に、地域防災訓練を実施する。  
20年 校舎、体育館の耐震工事が行われる。  
24年 「あいさつ日本一の草山地域」宣言を行う。  
グリーンスクールで表彰される。  
25年 県体カアップスクールで表彰される。  
26年 いじめを決して許さない集団づくり実践事業を実施する。  
27年 地域とともにある学校づくり推進事業を実施する。  
28年 創立140周年。電気式スクールバスを寄贈いただく。  
29年 校舎の大規模改修工事が行われる。  
30年 県「伝統文化の学びの充実事業」モデル校の指定を受ける。
- 令和 元年 丹波篠山市となり、丹波篠山市立西紀北小学校となる。  
2年 普通教室・学習教室にエアコンが設置される。  
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業となる。(3月～)  
新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発令による臨時休業。  
(～5月。始業式・入学式は実施。6月1日より再開。)  
夏季休業日短縮 8月8日～8月23日。  
3年 GIGAスクール構想に伴う1人1台コンピュータ端末(Chromebook)導入。  
校舎照明のLED化工事が行われる。  
運動場のジャンボ滑り台改修で、アーチとネットが設置される。  
5年 全国へき地教育研究大会兵庫大会アトラクション「デカンショ節」発表。

- 6年 第63回 兵庫県へき地・複式教育研究大会  
令和6年度 丹波・播磨東・阪神地区へき地・複式教育研究大会
- 7年 令和6年度 丹波篠山市教育委員会 資質・能力向上研究指定校 研究発表会  
昨年度の5・6年生の総合の取組「トイレバリアレンジャー」が、県教育委員会主催「ふるさとひょうご SDGs スクールアワード2025」の小学校部門で最優秀賞を受賞。また、丹波篠山市「みどり賞」も受賞。  
「第50回なわとび記録会」を実施する。